

修士学位論文等要旨
Abstract of Master's Dissertation or Selected Topical Research

論文提出者 / The person who submits a thesis

専攻名 / Department 工学専攻
分野名 / Division 水環境・土木工学分野
学籍番号 / Student ID 23W3016A
氏名 / Name 庄司 望

論文等題目 / Title

拠点間の連携を見据えた計画軸設定の現状
—高次都市機能の補完に着目して—

論文等要旨 (1,000字以内) / Abstract (Within 1,000 characters in Japanese or 300 words in English)

日本の地方都市では人口減少が顕著なことから、人口や高次の生活サービス施設（以下、施設）を集約して拠点とし、拠点同士を公共交通や道路で結ぶ、コンパクト+ネットワーク型の都市構造を目標としている。また、拠点に無い施設は、他の拠点に移動して施設を利用できるような、拠点間の連携による施設の補完（以下、補完）での確保が重要である。しかし、市町村が目指す都市の構造を示した将来都市構造図において、拠点間の連携を示すはずの計画軸は、補完の検討が不十分である。また、利用者の減少に伴い、現状の公共交通ネットワークの維持が困難になる恐れがある。なお、拠点は規模ごとに、都市圏の中心となる広域拠点、施設が多く立地する中心拠点や、日常的な生活サービスを提供する地域拠点をはじめとした階層性が存在する。これに着目して、上位の拠点との補完を優先し、効率よく施設を確保し、計画軸を集約することが考えられる。実現のためには、補完の重要性と計画軸の対応関係と、計画軸に基づいてどの拠点で補完を行うかの把握が重要である。

そこで、補完を見据えた計画軸設定への寄与を目的に、以下の分析を実施した。まず、施設の立地から補完の重要性を定量的に示し、公共交通で結ばれた拠点間において計画軸設定との関係を把握した。続いて、連携先の候補となる拠点を、公共交通の移動時間が短い順番と拠点の階層性が上位である拠点を優先した順番で想定し、それぞれでの施設確保の特徴の比較を行った。

補完と計画軸の関係を分析した結果、今回対象とした施設種での補完の重要性が高い拠点間で、概ね連携を図る計画軸が設定されていることを確認できた。一方で、補完の重要性が低い拠点間においても計画軸の設定がみられた。また、自治体間で連携の意図が明確に記されていない計画軸が確認できた。施設の確保の現状を把握した結果、中心拠点、地域拠点から上位拠点に対して、補完の重要性が高いにもかかわらず連携意図のある計画軸が設定されていない傾向にあることが明らかになった。また、上位拠点から優先的に施設を確保することで、多くの施設の確保が可能であることが示唆された。特に、中心拠点は、より広域的な視点での連携が重要なことが示された。以上より、今後は上位拠点と優先して施設補完を実施することを踏まえた計画軸設定が重要である。なお計画軸設定や拠点設定の際には、市町村を超えた連携・調整が考えられる。